

(文教くらし委員会)

請願第9号

将来につながる「県立奈良高校と平城高校の融合をすすめる」請願

紹介議員 佐藤 光紀

《要 旨》

奈良県では、前回の県立高校の大規模再編で、近隣校どうしの統合により対象の20校が10校となり、今回の平成30年発表の「県立高校適正化実施計画」による高校再編でも、榛生昇陽高校と大宇陀高校が「宇陀高校」に、吉野高校と大淀高校が「奈良南高校」に統合となりました。

上記計画により、平城高校（以下、略して「平城」）は令和4年3月末に閉校予定ですが、存続を求める累計約4万筆の署名簿が県に提出されていることから分かるように、多くの県民（在校生・保護者・卒業生・地元住民）が「平城」の伝統継承を願っています。

令和4年4月には、卒業生の寄贈品等が数多くある「平城」の校舎に奈良高校（以下、略して「奈良」）が移る予定ですが、他校の例と同様、両校生徒・関係者がともにあたたかく心を通わせ、互いに協力しあう関係の継承を願い、将来志向の明るい展望として「奈良」・「平城」両校のよき伝統を継承し融合を進めるため、下記の項目について請願致します。

記

- 「平城」卒業生のため、記念品保管、集う場所（OB・OG戦等を含む）の提供、卒業証明書、教育実習等の事務手続きについて従来通りとする。
- 「奈良」の文化祭「青丹祭」^{せいたんさい}と「平城」の文化祭「平城山祭」^{ならやまさい}や、クラブ活動、地域との連携活動等、さまざまな分野について、両校の伝統の融合・継承を図ること。
- 「平城」の校訓である「創造、敬愛、堅忍」と、「奈良」の校風である「自主創造」の精神の両方を継承することとして、教育委員会は両校の融合を進めること。